

子供の通信簿は親の成績表！



◆親の心が子供に影響を与える

子供の教育ということは本当は大人の教育なのであります。だから、わたしは子供の教育を説く前にまず大人に説く倫理をもつてしたいのであります。子を良くするにはまず親を教育しなければなりません。それほど親の心は子に影響を与えるのであります。(中略)わたしの講演会の時、東京の落合に住まれる松本十九といわれる方が講演を聴きに來ておられたのであります。この方のお子さんが夜尿をされる、いろいろ手を尽くしてみてもどうしても癒らなかつたそうです。大体すべて子供の病氣は



子供自身よりも親の悪い場合が多いのであります。つまり親の心が子供に反映して夜尿を起こしていることが多いのであります。この松本さんもわたしの講演を聴かれて、心境が一変されたらその夜からお子さんの夜尿がぴつたりとまつてしまつた。その五日目にわたしのところへ來られて大変お礼を言われたのであります。(中略)ところが松本さんのお子さんの夜尿は、講演会をお聴きになつて御自分の心境が変わられたその後の一週間は、たしかに癒つていたのであります。それから一週間ほどたつて講演の心的影響が薄れたところからまたお子さんがしくじり出してきたのです。そこへ関西の知人から、「本当に夜尿は治つたか」と問い合わせがあつたもので、

なんと返事を書いたものかと大変困られたそうでありま
す。いったん、治ったことは事実ではある。しかし、ま
た再発したことも事実である。治ったともいえないし、
治らないともいえないのでしばらく返事を出さずにおき
ましたら、(中略)わたしの講演がありましたので、松本
さんは今度はお子さんを伴^つれて聴きにいられたのであり
ました。そして十時まで講演を聴いて帰られて、「もう
今日は谷口先生の講演を聴いたから寝小便なんてしない
だろう」と強く思われて、ふだんなら、就寝^{しゅうしんぜん}前七時と、
九時と十二時と三度させて、それでもまだ夜尿をしくじ
るといふ状態のお子さんを、その夜は大丈夫と思つて、
寝しなに小用をさせないで寝かしてしまわれたそうであ
ります。それでもその夜はしくじらなくて、それから
その状態が数日間続いたのであります。これなど明らか
に親の心が子供に反応しているという実例でありましょ
う。親が講演をきいて子の病気が治ったなんて妙であり
ますが、実際のことでもあります。講演を聴いて病気が治
るならば、講演者の書いた本を読んでも親の心が一転す
れば子供の病気が治るはずです。

『生命の真相』頭注版13巻10～11頁



通信簿の成績は親の成績

親の心。が。子。に。映。る。の。が。実。際。の。事。実。と。し。た。ら。ば、親。た
ち。は。も。う。少。し。考。え。直。さ。ね。ば。な。ら。な。い。だ。ら。う。と。思。う。の。で。あ
り。ま。す。子。を。教。育。す。る。前。に。ま。ず。親。が。み。ず。か。ら。を。教。育。し。な
ければならないと考えざるをえないのであります。

子の成績が悪いというのも、親あるいは学校の先生
が悪くしている場合が多いのであります。千葉県白
里村に小倉久之丞^{きゆうのじやう}さんという小学校の先生が
あります。(中略)ある日、他の教室の授業時間を参観して
おられましたら、その組の受け持ちの女の先生が一人の子供を
つかまえて大変怒^{おち}っておられたのです。「お前くらいで
きの悪い子はない。実にお前はなまけものだ。先生の
教えを少しも注意してきかない」といつてひどく叱^{しか}ら
れていたのであります。やがてその時間がすんでか
ら、おもむろに小倉久之丞先生がその子に近づいて「あ
なたはよい子だねえ」と静かにお褒^ほめになったそう
であります。「あなたはよく勉強するね、きつとよくでき
る子になるよ!」と柔^{やわ}しい、しかし、子供の善^よさを固

く信ずるような語調で、簡単にほめられたのでありましたが、それ以後その子の性質が一変して、大変よくできるようになったのであります。その事実を見て、職員会議の時にその女の先生が起ち上がって告白されたそうであります。「わたしのこれまでの子供の教え方はまちがっていました」といって皆の前で懺悔されたということでありました。たんにそれだけの優しい、信じてくれる賞め言葉が子供を善くするのであります。「お前はほんとによい子だよ」という、それだけの言葉にすら子供を生かす力があるのであります。それに先生がヒステリーを起こして、「こんな悪い子はありやしない」なんて怒れば、子供は正直なもので、「先生は偉い」と信じきっているのでありますから、その偉いと信じている先生が、「自分を世の中で一番悪い子だというんだから本当にそうかもしれない」と、子供がそう思ってしまったが最後、勉強に興味がなくなり、先生に嫌われたと思つて、教室にいてもおもしろくなく成績もずんずん悪くなつてゆくのであります。ちよつとした言葉で子供が良くもなり、悪くもなる、通信簿つうしんぼに書いてある子供の成績は、実は親の成績表であり先生の成績表だとい



つてよいくらいであります。

〔生命の實相〕頭注版13巻15〜16頁

子供に良き手本を示す

母親の性質とか心持ち、態度というものが子供に最も多く現われて来るのであります。でありますから、皆さんがお子さんにもつとよい性質がほしいと思われたら、まずみずからを省みて自分がよくなつていただくことが肝心かんじんなのであります。

子供というものは、「お前は悪い悪い」と叱つてもなかなかよくなるものではありません。常に善い方面を見るようにして、悪は見ずに、子供の完全円満な実相を見るようにして、それを賞め言葉で誘導していれば必ずよくなつてくるのであります。(中略)命令や言いつけよりも、行ないで手本を示されますと、子供はすぐその真似まねをするものでありますから、常に子供によい実例を示し、常によき行為の模範になることが大切であります。

〔生命の實相〕頭注版13巻50〜51頁